

# 令和4年度事業報告書

社会福祉法人みどり福祉会  
障害者支援施設 みどり荘

## ○みどり荘利用状況（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

（施設入所支援）定員50名（年間利用延べ定員数18,250人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分4	187	207	194	217	208	204	211	210	217	196	196	217	2,464
区分5	330	341	330	341	341	330	341	330	317	310	280	341	3,932
区分6	900	938	930	950	975	954	985	951	957	997	908	983	11,428
計	1,417	1,486	1,454	1,508	1,524	1,488	1,537	1,491	1,491	1,503	1,384	1,541	17,824
令和4年度	利用割合			利用率			令和3年度	利用割合			利用率		
区分4	13.82%			97.67%			区分4	12.60%			96.90%		
区分5	22.06%						区分5	25.60%					
区分6	64.12%						区分6	61.80%					

（生活介護）定員56名（年間延べ定員数15,064人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分4	132	153	141	161	154	150	157	154	161	145	140	161	1,809
区分5	231	253	242	253	253	242	253	242	235	230	200	253	2,887
区分6	624	696	682	705	723	699	731	697	708	740	648	729	8,382
計	987	1,102	1,065	1,119	1,130	1,091	1,141	1,093	1,104	1,115	988	1,143	13,078
令和4年度	利用割合			利用率			令和3年度	利用割合			利用率		
区分4	13.83%			86.82%			区分4	12.60%			86.30%		
区分5	22.08%						区分5	25.70%					
区分6	64.09%						区分6	61.70%					

（短期入所）定員4名（年間延べ定員数1,460人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分4													0
区分5						26	31	30	31	31	28	31	208
区分6	30	31	30	31	31	30	31	30	31				275
計	30	31	30	31	31	56	62	60	62	31	28	31	483
令和4年度	利用割合			利用率			令和3年度	利用割合			利用率		
区分4				33.08%			区分4	12.60%			41.00%		
区分5	43.06%						区分5	25.70%					
区分6	56.94%						区分6	61.70%					

## ○ 生活支援課

コロナウィルスへの感染対策を最重要課題として、一年を通して感染予防を継続して行った。感染蔓延期に職員・利用者に数名感染者は出たが、クラスターにならず感染を最小限に食い止めることが出来た。

特例的にロングショート利用として入所する方はあったが、感染対策を重んじ生活介護・ショート利用については、ワクチン接種・利用前の健康観察・一定期間の利用など条件付きでの利用受け入れとなった。そのため利用希望者はなかったが、反面入所されている方との関りを強化でき、新しいレクリエーションを発掘することが出来た。

研修においては、本格的にリモート参加可能な研修に参加したり、内部研修を実施したりとチャレンジすべきことに取り組み、成果を得られた一年となった。

今後、感染対策の継続も必要であるが、緩やかな緩和も課題として残る。

### 1) 職員の意識とサービスの質の向上

電算上で管理するようになった記録から必要な情報を検索し、計画作成やモニタリングに活用できるようになった。日々の記録の量や質も向上している。計画に基づいた対応や観察の記録などが増えたことで、より良いサービスに繋がっている。グループリーダーを中心に各支援員が話し合える場としてのグループ会議が根付いてきていることもその一助となっている。

### 2) 研修の推進と職員のスキルアップ

強度行動障害支援者養成研修や介護福祉士実習指導者研修にリモートで参加できた。内部研修としては、PTがポジショニングについての研修を支援員対象で行えた社会・介護福祉士会が主催する研修をはじめ、幅広く参加できる研修を来年度は探していきたい。

### 3) 責任ある支援

記録の徹底によって情報共有は可能になった。しかし、使う側が使いこなせないと情報はただのデータであることを再認識した。データを支援に活かせるように意識向上していきたい。

### 4) 個別支援計画の充実

支援検討会議において、それぞれの利用者の支援について多職種が話し合うことで個別支援計画の内容は充実してきていた一方で、支援には直接関与しない部分でジレンマを抱えることが多々あった。

会議の運営方法も含めてゼロベースで見直しをする必要がある。

### 5) 人権擁護と虐待防止の意識向上と苦情受付・相談窓口

春と秋に虐待防止研修を開催。全職員がいずれかに参加できた。利用者からの苦情に対しても施設長を中心に真摯に対応し、早期解決に導けた。委員会を中心として身体拘束の廃止と虐待防止については継続して啓発できている。

## 6) 日中活動の充実

新しいレクリエーションとして、フラワーアレンジメント・ネイル・美容パックなどユニークなものが提供できた。ケース担当との関わりの中から生まれたアイデアを膨らませる形となったが、参加者が増えてきている。

食べるレクリエーション(湯豆腐パーティー)も開催。好評を得ている。小さい関わりから生まれた楽しく過ごす工夫やアイデアが、多くの方の楽しく過ごす選択肢として提供できている。

## 7) グループ制の導入

グループリーダーから主任を出すことができた。今後もリーダーの中から主任や副主任を担える人材を育成していきたい。

## ○ 医務課

### 1) 健康診断

#### 春 季(4月~5月)

(利用者検査内容)

胸部X-P、心電図、身体測定、視力、聴力  
採血(血液一般、肝機能、腎機能、脂質代謝、  
痛風、糖代謝、その他)、検尿

(職員検査内容)

胸部X-P、心電図、身体測定、視力、聴力  
採血(血液一般、肝機能、腎機能、脂質代謝、  
痛風、糖代謝、その他)、検尿、骨密度、腹囲  
採血(感染症)40歳以上の方は採血項目  
(腎機能)40歳以上、希望者のみ胸部CT検査  
直接処遇職員は腰部X-P追加

実施人数	利用者	50名
	短期入所	1名
	職員	43名

#### 秋 季(10月~11月)

(利用者検査内容)

胸部X-P、心電図、身体測定、視力、聴力  
採血(血液一般、肝機能、腎機能、脂質代謝、  
痛風、糖代謝、その他)、検尿

(職員検査内容)

胸部X-P、心電図、身体測定、視力、聴力  
採血(血液一般、肝機能、腎機能、脂質代謝、  
痛風、糖代謝、その他)、検尿、骨密度、腹囲  
採血(感染症)40歳以上の方は採血項目  
(腎機能)40歳以上、希望者のみ胸部CT検査  
直接処遇職員は腰部X-P追加

実施人数	利用者	50名
	短期入所	2名
	職員	14名

- 2) 予防接種  
インフルエンザ予防接種  
実施人数 利用者 50名  
短期入所 2名  
職員 14名
- 3) 肺炎球菌ワクチン接種  
実施人数 1名
- 4) 検便（毎月実施）  
実施人数 職員 7名
- 5) カテーテル管理（佐藤泌尿器科・赤穂はくほう会病院）  
バルーンカテーテル 12名  
膀胱瘻カテーテル 1名  
腎盂カテーテル 1名  
自己導尿の管理 2名  
尿管ステントの管理 2名  
腎瘻カテーテル 1名
- 6) 眼科疾患の管理（製鉄記念広畑病院・瞳クリニック）  
4名
- 7) 口腔衛生の管理（魚橋病院歯科・たかお歯科医院）  
3名
- 8) 耳鼻疾患の管理（しんりゅうクリニック）  
5名
- 9) 褥瘡予防皮膚疾患の管理（魚橋病院皮膚科）  
利用者全員  
（入浴、排泄時に皮膚の状態確認  
褥瘡、湿疹、白癬など）
- 8) 胃瘻の管理  
6名（胃瘻挿入部の消毒  
管理、ボタン交換1回/6か月）
- 9) 膠原病疾患の管理（赤穂市民病院）  
1名
- 10) 癌疾患の管理（姫路赤十字病院 産婦人科）  
1名
- 11) 入退院報告  
入院 13名  
退院 10名

## ○ リハビリ課

利用者個々の障害を把握しながら本人の意思を確認し、また日々の声かけ等によるコミュニケーションにて精神的アプローチを行えました。

また、加齢に伴う残存機能の低下予防や日常生活に反映できるようにプログラムを作成しリハビリを行えました。

- 1) 各個別の目標を明確にし、その上で利用者の意見も取り入れながらそれに添ったリハビリテーション実施計画書を年に2回作成し、本人の意思確認をしながら基本週1回の個別リハビリを行いました。
- 2) 日常生活上必要な基本的動作を中心とした練習を行いながら、利用者の現状を各部署へ報告し（詳細は施設内ネットワークで繋がったパソコンで確認出来る）、個別プログラムに添った運動を行いました。
- 3) 利用者の活動性向上、生活の充実を目標として、月4回レクリエーション（余暇サークル）を実施できました。  
支援職員も増えてきたので、今後職員の人数も増やして補助、盛り上がりも向上していければと思います。
- 4) 残存機能に対しての車椅子、杖、装具等福祉用具のアドバイスをし、適切な福祉用具の作成（申請手続き）に協力できました。
- 5) 気分転換を目的に日中気候気温が良い時には散歩に出かけ外の季節を肌で感じていただけました。
- 6) 利用者の状態を判断し、機能低下や能力の改善が見られると思われる場合、リハビリ回数を増やし対応していきました。
- 7) コロナ禍対策として日によって行うリハビリのメンバーを利用者の居室で区画に分けて、感染拡大のリスクを軽減しながら行っていきました。レクリエーションは1F、2Fに分けつつ消毒、ソーシャルディスタンスに気を付けながら行いました。

## ○ 栄養課

### 1. 嗜好調査

施設としての食事調査により様々な意見をいただき、それを参考に献立を検討・実施した。

次年度は栄養で実施をして献立作成に反映するように努めます。

また食事介助や食事状況の確認などが思うようには実施出来ていないため、今後は利用者とは話をする機会を作ります。

利用者との会話から得た事を嗜好調査と同じように、日々の業務に活かせるように努めていきます。

## 2. 行事食

季節ごとの食事は十分に実施出来たとは言えないため、次年度は季節感を大切に考えていきます。

利用者の意見を反映した献立になるようにと考えております。

また各々の季節感を味わっていただけるように、旬の食材を使用して献立を作成するように努めます。今年度も利用者の希望する家庭的な食事の提供に心がけます。

行事	実施日		メニュー
開設記念日	R4年4月	昼食	菜めし、天ぷら、天つゆ、わけぎの酢味噌和え、ヤクルト
花見弁当	R4年4月	昼食	たけのご飯、えびフライ、かぼちゃフライ、たまごやき、煮合わせ、なます、いちご、かき玉スープ
昭和の日	R4年4月	昼食	ぶりの照り焼き、かに風味酢の物、茶碗蒸し
憲法記念日	R4年5月	昼食	カツどんぶり、白菜ゆず風味和え、味噌汁、ヤクルト
端午の節句	R4年5月	昼食	ちらし寿司、高野の煮物、すまし汁、カップゼリー
お盆	R4年8月	昼食	ちらし寿司、絹厚の卵とじ、すまし汁 カップゼリーようかん
敬老の日	R4年9月	昼食	鮭寿司、煮合わせ、卵豆腐すまし汁
月見弁当	R4年9月	昼食	松茸ご飯、えびフライ、焼き栗コロック、ぶりの照り焼き、牛肉のしぐれ煮、白和え、ミートボール甘酢あん、松茸汁
秋分の日	R4年9月	昼食	栗ごはん、鯛の西京焼き、牛肉の柳川風、のっぺい汁、パイン
文化の日	R4年11月	昼食	いなり寿司、煮合わせ、かき玉汁、クレープ
ふれ愛 フェスティバル (食事のみ)	R4年11月	昼食	炊き込みご飯(おにぎり)、から揚げ、ハンバーグ、ポテトサラダ、豚汁、ケーキ、
クリスマス会	R4年12月	昼食	チキンライス、ヒレカツ、ポテトサラダ、ハムとほうれん草のスープ
正月	R5年1月1日~3日	朝食	数の子、黒豆、田作り、かまぼこ、伊達巻他
		昼食	鯛の塩焼き、ぶりの照り焼き、鯛の西京焼き、煮しめ、生酢、生菓子、果物他
		夕食	肉野菜炒め、ローストポーク、鶏のロール巻き、和え物、お汁他
成人の日	R5年1月	昼食	いなり寿司、のっぺい風煮物、卵豆腐のすまし汁
節分	R5年2月	昼食	巻き寿司、いわしの生姜煮、すまし汁
建国記念日	R5年2月	昼食	ちらし寿司、煮合わせ、卵豆腐のすまし汁
天皇誕生日	R5年2月	昼食	赤飯、鯛の西京焼き、胡瓜としらすの酢の物、かき玉汁
ひな祭り	R5年3月	昼食	ちらし寿司、鶏肉と大根の煮物、すまし汁、
春分の日	R5年3月	昼食	サラダ巻き、煮合わせ、すまし汁、おはぎ

## 3. 土鍋料理

コロナウィルスの影響があり、鍋料理は実施できませんでしたが、状況を見ながら実施するように考えていきます。

## 4. 選択メニュー

4月から選択メニューを実施出来ましたが、選択メニューの献立が同じような献立の繰り返しになってしまいました。

利用者にも希望を聞いて利用者の望む献立を検討していきます。

## 5. 誕生祝い食

実施日		メニュー
R4年 4月	昼食	開設記念日
R4年 6月	昼食	いなり寿司、田楽、かき玉汁、ヤクルト
R4年 7月	昼食	鮭寿司、田楽、卵豆腐のすまし汁、ヤクルト
R4年 8月	昼食	サラダ巻き、煮合わせ、すまし汁、ヤクルト
R4年 9月	昼食	カツどんぶり、浅漬け、味噌汁、ヤクルト
R4年 10月	昼食	天ぷら、天つゆ、はるさめの酢の物、ヤクルト
R4年 11月	昼食	カツどんぶり、うざく風、すまし汁、ヤクルト
R4年 12月	昼食	サラダ巻き、煮合わせ、すまし汁、ヤクルト
R5年 1月	昼食	天ぷら、天つゆ、うざく風、ヤクルト
R5年 2月	昼食	カツどんぶり、ナムル、豆腐スープ、ヤクルト
R5年 3月	昼食	鮭寿司、ゆず田楽、卵豆腐のすまし汁、ヤクルト

## 6. 栄養会議

チーフ会議と兼ねて実施、施設内基準・嗜好調査・市場調査・献立・利用者の食事状況・栄養ケアマネジメントについて報告・相談を行いました。

月1回実施日も決めましたが、計画通り実施出来ることが少なく、何かあ何ればその場で話し合いをすることが多くなりました。

給食会議として話し合いが出来るようにしていきます。

## ○研修

サービス管理責任者講習

近畿地区障害者支援施設協議会 施設長会研修（オンライン研修含む）

近畿地区障害者支援施設協議会 QOL研修（オンライン研修）

相生市障害者基幹相談支援 虐待防止研修

相生警察署交通課 交通安全講習

兵庫県公安委員会 安全運転管理者講習

法人内研修 組織マネジメント研修

兵庫県シルバーサービス事業者連絡協議会 メンタルヘルス研修

フィールドサポートエン 虐待防止・身体拘束適正化研修

西播磨消防相生署 AED講習

介護福祉士養成者研修（オンライン研修）

強度行動障害支援者養成研修

## ○消防訓練

総合避難訓練（消火訓練・通報訓練・避難訓練）

夜間想定訓練（消火訓練・通報訓練・避難訓練）